AI 教育推進室　2024 年度総括（自己点検・評価）

AI 教育推進室長　木戸　　博
教務学生課長　目黒　裕二

1．2024 年度目標の達成状況・主要計画の実施状況

（1）AI 教育プログラムの実施

事実の説明	・全学の東北工業大学　AI 教育プログラムとして、人工知能総論、人工知能総論、人工知能入門、人工知能基礎、人工知能応用を実施した。
自己評価	・人工知能総論、人工知能入門、人工知能基礎はオンデマンド講義ではあったが、土曜日の授業枠に表示し、適切に受講に誘導できた。 ・人工知能入門では、不合格であった受講生に対し、理解度を向上させるために再履修クラスを設け修了者増に繋げた。

（2）AI 教育プログラムの教育内容

事実の説明	・人工知能総論は、文科省　リテラシーレベル認定に準拠した教育内容とした。 ・人工知能入門、人工知能基礎、人工知能応用は、応用基礎レベル認定に準拠した教育内容とした。 ・人工知能入門はG検定ジェネラリスト試験の出題範囲を考慮した教育内容とした。
自己評価	・人工知能総論、人工知能入門、人工知能基礎、人工知能応用の教育内容は、認定制度（応用基礎レベル）の認定要件を満たすシラバスになっており、令和 6 年 8 月に文部科学省の数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）に認定されたことは評価できる。

（3）AI 教育プログラムの履修・修得

事実の説明	・人工知能総論の履修率（履修者/定員）は、108%（目標 99%以上）であった。 ・人工知能総論の修得率（修了者/履修者）は、84%（目標 90%以上）であった。 ・人工知能入門の履修率（履修者/定員）は、101%（目標 70%以上）であった。 ・人工知能入門の修得率（修了者/履修者）は、88%（目標 80%以上）であった。 ・人工知能基礎の履修率（履修者/定員）は、55%（目標 30%以上）であった。 ・人工知能基礎の修得率（修了者/履修者）は、84%（目標 70%以上）であった。 ・人工知能応用の履修率（履修者/定員）は、9%（目標 10%以上）であった。 ・人工知能応用の修得率（修了者/履修者）は、42%（目標 60%以上）であった。
自己評価	・人工知能基礎（対前年比 2 倍）、人工知能応用（対前年比 3 倍）の履修率が、前年比で大きく増加したことは評価できる。 ・人工知能入門、人工知能基礎は選択科目であるにもかかわらずが、目標を上回る高い修得率に至ったことは高く評価できる。

（4）AI 教育プログラムの推進体制

事実の説明	・AI 教育推進室会議を 2 回開催し、AI 教育の円滑な推進を図った。 ・AI 教育推進委員会を 2 回開催し、全学的な AI 教育推進を図った。 ・外部評価委員会にて、本学の AI 教育の状況を説明し意見を伺った。
自己評価	・AI 教育推進室会議及び AI 教育推進委員会を着実に開催し、教育内容の確認と検討を全学的に行った。 ・外部評価員会での本学の AI 教育の状況報告を行い、産業界からの意見を伺う良い機会となった。

（5）その他

事実の説明	・応用基礎レベル科目である人工知能基礎、人工知能応用の履修準備のため、2 年次希望学生向けに、特別課外活動として外部教材による動画視聴講座を行った。 ・令和 7 年度からの特別課外活動を、本学独自教材化への検討を行った。
自己評価	・令和 7 年度から特別課外活動の外部教材委託先が撤退するという予期せぬ事態に対して、対応方法を策定したことは評価できる。

2．課題および改善・向上の方策

・2 年次向け特別課外活動の外部教材委託先が撤退したため、本学独自教材を制作し、実施する。

3．特記事項　　令和 6 年 8 月に文部科学省の数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）に認定された。

（様式１－別表）

2024 年度総括エビデンス資料一覧（AI 教育推進室）

No.	エビデンス資料（タイトル）	総括 No.
1	令和６年度　第１回 AI 教育推進委員会資料	１－（１）
2	令和６年度　第２回 AI 教育推進委員会資料	１－（１）
3	令和６年度　第１回 AI 教育推進委員会資料（再掲）	１－（２）
4	令和６年度　第２回 AI 教育推進委員会資料（再掲）	１－（２）
5	令和６年度　第１回 AI 教育推進委員会資料（再掲）	１－（３）
6	令和６年度　第２回 AI 教育推進委員会資料（再掲）	１－（３）
7	令和６年度　AI 教育推進委員会 議事要録（第１回～第２回）	１－（４）
8	令和６年度　AI 教育推進室会議会議 議事要録（第１回～第２回）	１－（４）
9	令和６年度　AI 教育推進委員会議事要録（第１回～第３回）	１－（４）
10	令和６年度　第１回 AI 教育推進委員会資料（再掲）	１－（５）
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		
37		
38		
39		
40		
41		
42		
43		
44		

（様式２）

AI 教育推進室　2025 年度目標および主要計画

AI 教育推進室長　木戸　　博
教務学生課長　目黒　裕二

１．2024 年度までに示された主な課題・指摘事項・学長指示事項（未完了分）等

２年次向け特別課外活動の外部教材委託先が撤退したため、本学独自教材を制作し、実施する。

２．2025 年度の目標および主要計画

（１）AI 教育プログラムの実施

①目標	・全学の東北工業大学　AI 教育プログラムとして、リテラシーレベル（人工知能総論）、応用基礎レベル（人工知能総論、人工知能入門、人工知能基礎、人工知能応用）を実施する。
②計画	・人工知能総論（１年次、前期必修）、人工知能入門（１年次、後期選択）、人工知能基礎（３年次、前期）、人工知能応用（３年次、前期）を実施する。

（２）AI 教育プログラムの教育内容

①目標	・人工知能総論は、文科省　リテラシーレベル認定に準拠した教育内容とする。 ・人工知能入門、人工知能基礎、人工知能応用は、応用基礎レベル認定に準拠した教育内容とする。 ・人工知能入門はＧ検定ジェネラリスト試験の出題範囲を考慮した教育内容とする。 ・文科省　リテラシーレベルの再申請（令和８年 10 月）に向け内容を検討する
②計画	・受講者全員に対して授業評価アンケートを実施し、教育内容の充実を図る。 ・本教育プログラムの自己点検・評価を行い、教育内容の充実を図る。

（３）AI 教育プログラムの履修・修得

①目標	・人工知能総論の履修率（履修者/定員）を、99%以上にする。 ・人工知能総論の修得率（修了者/履修者）を、90%以上にする。 ・人工知能入門の履修率（履修者/定員）を、70%以上にする。 ・人工知能入門の修得率（修了者/履修者）を、80%以上にする。 ・人工知能基礎の履修率（履修者/定員）を、30%以上にする。 ・人工知能基礎の修得率（修了者/履修者）を、70%以上にする。 ・人工知能応用の履修率（履修者/定員）を、10%以上にする。 ・人工知能応用の修得率（修了者/履修者）を、60%以上にする。
②計画	・授業時間外で学習指導、質問を受け付ける仕組みを設けるなど、多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制を図る。 ・人工知能入門では、再履修クラスを設け、多くの学生の修得率の向上を図る。 ・人工知能応用の履修率向上に向け、各学科の AI 教育担当教員が人工知能基礎修了者や大学院進学希望者に、人工知能応用の履修及び応用基礎レベル認定を促す。 ・2 年次希望学生向けに、人工知能基礎・人工知能応用の履修準備を目的として特別課外活動の動画視聴講座を設け、履修率向上を図る。

（４）AI 教育プログラムの推進体制

①目標	・AI 教育推進室会議を開催し、AI 教育の円滑な推進を図る。 ・AI 教育推進委員会を開催し、全学的な AI 教育推進を図る。
②計画	・半期に１回以上の頻度で AI 教育推進室会議を開催する。 ・半期に１回以上の頻度で AI 教育推進委員会を開催する。

（５）その他

①目標	・3 年次より開始される人工知能基礎、人工知能応用の履修準備のため、2 年次希望学生向けに、特別課外活動として動画視聴講座を行う。 ・AI 教育の高大接続活動を推進する。
②計画	・特別課外活動として、6 月～7 月募集、8 月～9 月受講を計画している。